

マーケットの動き（2022年8月8日～8月12日）

先週の国内債券市場は、前週末比で金利は上昇しました（債券価格は下落）。

9日に実施された超長期債の入札には事前に先回りの買いがみられ、入札自体はやや軟調な結果となったものの、入札を終えた安心感から国内長期金利は一時0.16%台まで低下しました。7月の米国CPI（消費者物価指数）や米国PPI（卸売物価指数）がインフレの鈍化を示しましたが、市場参加者は事前に織り込んでおり米国の利上げ継続に対する思惑と相まって一時0.20%台まで上昇する場面もみられたものの、やや落ち着きを取り戻しました。

投資環境見通し（2022年8月）

国内長期金利は一進一退の動き

国内長期金利は、将来の日銀による金融政策変更を巡る観測から、変動率が高まる可能性があります。しかし、将来的には物価上昇圧力が和らぐ可能性もあり、日銀の当面の金融政策については変更しないとみられることから、海外長期金利が低下する場面では連れた動きとなる場面もあるとみられます。当面の国内長期金利は、一進一退の動きを予想しています。

	8月12日	変動幅（騰落率）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
10年国債利回り（日本、%） （変動幅）	0.19	0.03	▲0.05	▲0.03	0.16
NOMURA-BPI総合 （騰落率）	379.56	0.03%	1.06%	▲0.51%	▲2.30%

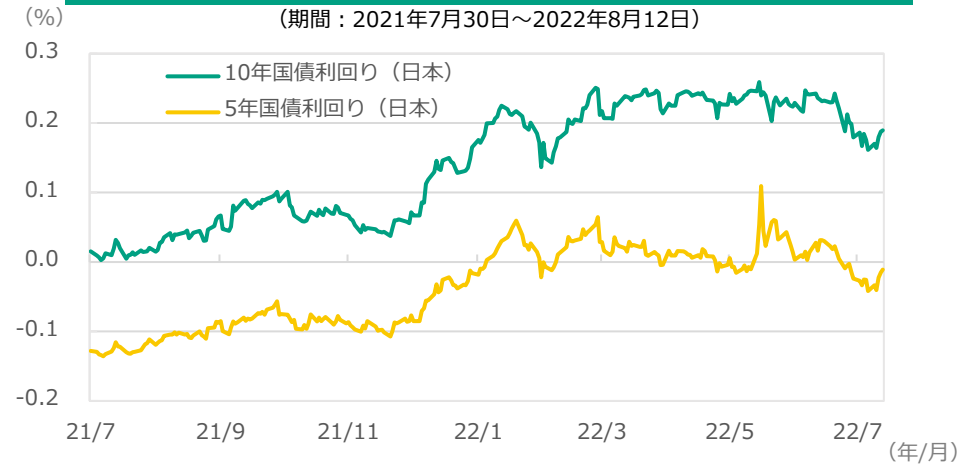
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日（休日の場合は前営業日）までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202208_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客様の投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客様自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

日本国債利回りの推移



NOMURA-BPI総合指数の推移



※2021年7月30日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成